

毎年、12月～3月にかけて流行する“インフルエンザ”、その年によって流行する型が異なりますが感染力がとて強いウイルスです。昨日2/6(木)から本園におきましても、発熱症状の園児が増え、4名インフルエンザB型との診断を受けており、今後更なる感染拡大が予想されます。つきましては、ご家庭でも不要、不急の外出や人の多く集まる場所は避ける、うがい、手洗いの徹底など予防対策の強化をお願いするところです。(特に週明け月曜日の欠席者が目立ちます) 幼稚園は、抵抗力のない小さな子どもを扱う『集団の場』であることを考慮し、急な発熱や頭痛、悪寒、のどの痛みなど症状が見られたときは、早めに医療機関を受診して下さい。また、体調が思わしくない、家庭内にインフルエンザ罹患者がいる場合など 感染の疑いを懸念し、自主的に欠席措置を取られているご家庭もあり、このような協力体制が園児の完成拡大を防ぐ大きな要因ではないかと思えます。下記の症状をよくお読みになり、お子さまの体調の変化には十分に注意し、今後も各ご家庭で予防対策の徹底と適切な対応をお願い致します。

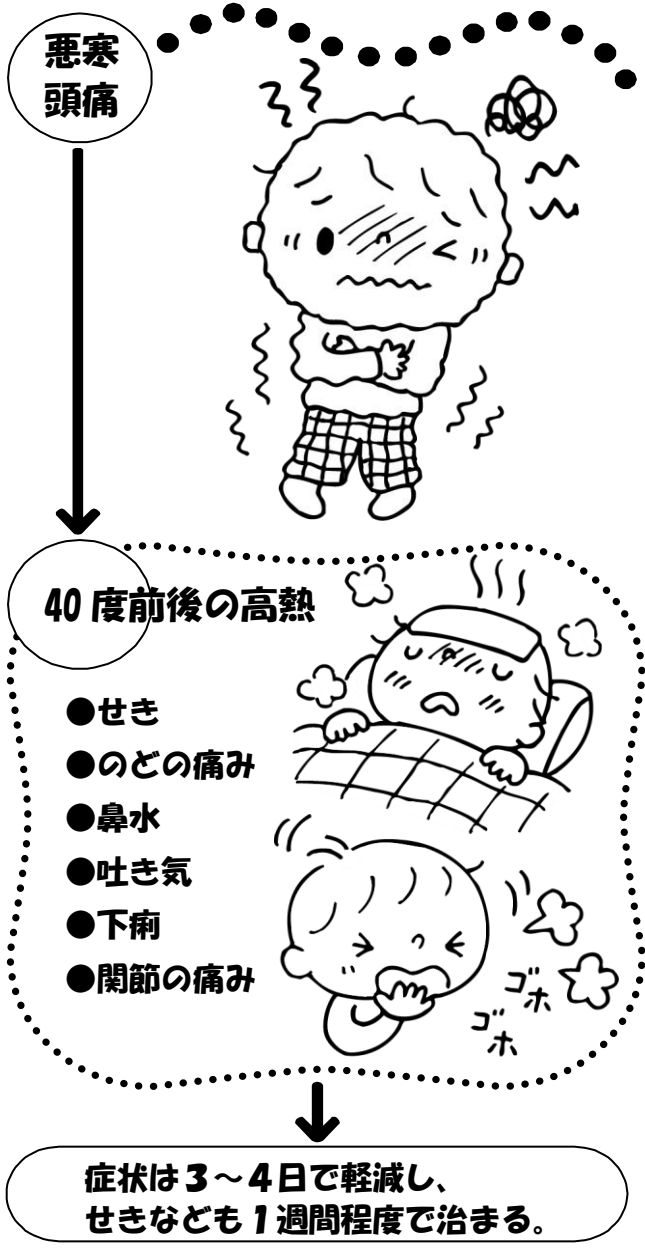


気をつけよう！インフルエンザ



主な症状～インフルエンザ～

主な症状は、急激に40度前後の高熱が出て、悪寒や頭痛、のどの痛み、せき、鼻水、筋肉や関節の痛みなどの症状が現れます。吐き気、下痢などの症状が現れることもあります。感染力がとて強く、ふつうのかぜよりも、症状が重いのが特徴です。



インフルエンザ？と思ったら

★受診して確認を

かぜと区別しにくいのですが、今は検査でインフルエンザかどうかわかるようになりました。受診して確認しましょう。

★脱水症状に注意

高熱が出たり、下痢を起こすと脱水症状が出やすくなります。水分補給には十分注意しましょう。

★熱が下がって3日間は登園停止

インフルエンザは、発病してから5日を経過し、解熱して3日を経過するまでは登園停止です。無理をするとぶり返したり、人にうつす可能性があるからです。この期間を守り、家庭でゆっくり療養してください。

インフルエンザの予防接種

インフルエンザのワクチンは、接種しても発症することがありますが、症状が軽くすむことが多いようです。通常大人は、シーズンに1回ですが、子どもの場合は、2回接種が標準です。接種してから、2週間以上たないと効果が現れないため12月の流行期に入る前にすませるようにしましょう。ただ、アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともあります。医師とよく相談してください。